



令和7年度林野庁委託事業
【森ハブ_PF】
10月イベント

令和7年度林業イノベーションハブ構築事業

林業の未来を考える次世代経営者ワークショップ フォローアップ

情報提供 提案募集

当事者同士のウェブ
会議でマッチングを
図ります。
ぜひご応募下さい!!

森ハブ会員向けには、提案を求める課題の概要を共有しています。

この機会に、ぜひ会員にお申込みいただき、林業界の課題について対応策をご提案いただければ幸いです。

森ハブ会員について（申し込み） <https://morihub-info.com/platform/>



一般社団法人 日本森林技術協会

Japan Forest Technology Association

ワークショップの概要と森ハブ会員からの提案募集について

□ ワークショップ開催概要

- 日 時：2025年10月7日（火） 9：30～16：00
- 会 場：TKPガーデンシティPREMIUM仙台
- 参加者：林業事業体等の経営に関わる方 15名
委員等オブザーバー2名



□ テーマ

- ① 現場作業の安全性を高めるための取組
- ② 獣害対策の省力化、低コスト化のための取組
- ③ 自社に新技術を導入するための人材確保・育成 / 外部サービス利用の取組

全てのテーマにおいて活発な意見交換が行われ、多くの参加者が、他社の取組を参考にして自社の課題解決に取り組むアイディアを得ることができました。

一方で、現状では課題解決に至る取組や製品・技術が乏しいと感じるものがあることも共有されました。



□ 森ハブ会員への情報共有（WSの概要共有＝本資料）

□ 森ハブ会員からの提案募集

- 既存の製品・サービスを提案
- 改善した事例の紹介

□ 新たな製品・サービスの開発につなげるための対話
（ユーザーヒアリング）



ワークショップ後のフォローアップについて

10月7日



アクション

- ・〇〇を実現
- ・〇〇の協力が必要



自社での
取り組み



【共有】

MORI-HUB

事務局

会員
メーカー

会員
メーカー

会員
システム
開発

わが社の技術
が活かせるぞ！

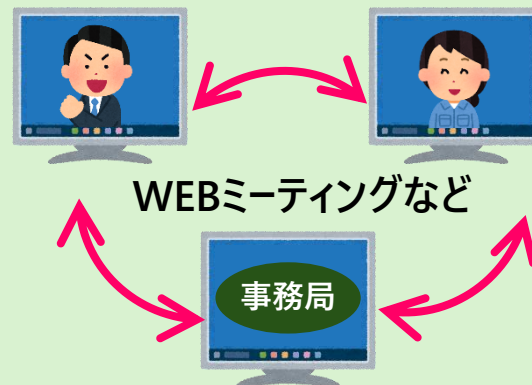
今ココ

マッチング!!
対話

【個別協議】11月～R8年1月

森ハブ会員メーカー等

参加者



【事務局へ経過報告】12月

成果紹介
森ハブ会員へ



提案募集

次ページ以降の報告をご確認のうえ、御社の技術等の活用可能性をご検討ください。

□ 募集期間 **2025年12月19日（金）まで**

□ 応募方法

■ 提案する課題No

■ 提案のタイプ

A) 課題（問題意識）に対して、「求める提案」に沿った、製品・サービスにより応えるもの

B) 課題（問題意識）に対して、「求める提案」とは別のアプローチから応えるもの

■ 連絡先（森ハブ会員名、担当者）

■ 提案内容の例

- 市販されている製品・サービス
- 実証中の製品・サービス
- 将来的に製品化を目指すアイデア

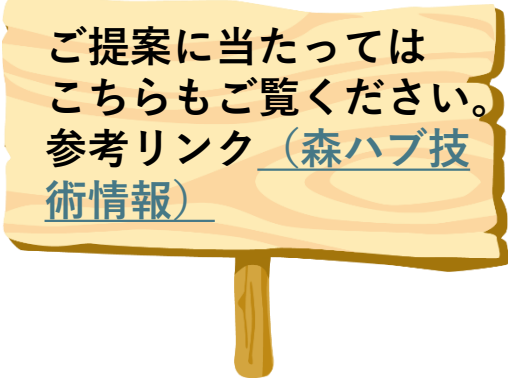
□ 応募先 **会員限定の入力フォーム**

□ 応募後の個別協議について

■ 応募内容をイベント参加者に共有、興味を持ったイベント参加者（林業事業体）を応募者に紹介

■ WEBミーティング等の日程調整（事務局による調整もしくは、参加者と応募者の間で直接実施）

■ 協議内容：課題解決に資する製品・サービス等について応募者が解説し、イベント参加者（林業事業体）と意見交換



ご提案に当たっては
こちらをご覧ください。
参考リンク [（森ハブ技術情報）](#)

提案を募集する課題(問題意識)リスト

会員限定で各課題の説明
資料も共有しています。

No.	課題（問題意識）	求める提案
1	安全対策	① ヒヤリハットを気軽に共有できる全国版のシステム ② 防護服・空調服の改良 ③ ロボット化 → No.3へ統合
2	下刈りの省力化	① より効果と安全性が高い成長抑制剤の開発、適正な利用方法と安全性の確認 ② 手押し式の草刈り機の開発 ③ 空調服の改良 → No.1②へ統合
3	ドローンによる集材・搬出技術の開発	① 丸太を1日に10往復以上運搬可能なドローン
4	遠隔操作・自動運転林業機械の実装の加速	① 林内で利用できる高精度位置情報技術 ② 熟練作業者の操作データをAI化、シミュレーターを用いた教育環境整備 ③ 実証実験用フィールドや情報共有プラットフォーム
5	若手のモチベーションを上げる人材育成システム	① キャリアパスの明確化 ② シニア世代から若手への技術伝承と育成プログラム
6	獣害対策のための犬型ロボットの開発	① 犬型ロボットの自動巡回による監視・威嚇システム
7	耕作放棄地の積極活用策	① 早生樹植栽・バイオマス利用
8	GISのさらなる活用に関する取り組み	① GISオペレータの育成 ② オープンデータ化促進、データ統合・共有基盤の整備
9	作業計画アプリと実績分析によるPDCA	① PDCAに活用できる実績データの分析アプリ